

豪ドル円が 70 円台を回復、その背景と今後について

Insights from UBS Asset Management

ポイント

- ・コロナ禍における豪州の「優れた感染対策」や「大規模な財政政策」に高評価
- ・豪州経済は、5月からスタートした国内の経済再開への期待や中国の経済再開と回復が下支えに
- ・豪ドル円は 70 円台を回復、今後は世界経済の立ち直りに伴う銅など資源価格の上昇などに期待

新型コロナ感染対策に成功した豪州

- ✓ 豪州では、3月中旬から後半にかけて感染者が急増しましたが、その後は都市封鎖など早期の政府対応により、感染封じ込めに成功しています。日本や欧米などに比べスピード感のある「優れた感染対策」が評価されています。特に、医療体制の充実により医療崩壊が回避され、豪州では感染からの回復率が90%を超え、死亡率も1%と低い水準に抑えられています。
- ✓ 豪州では、3月に集中的に経済対応が実施され、金融支援では、オーストラリア準備銀行（RBA）が19日の臨時理事会で政策金利を0.25%へ引き下げ、財政支援では、月中に第1弾（176億豪ドル）、第2弾（661億豪ドル）、第3弾（1,300億豪ドル）が矢継ぎ早に発表されました。
- ✓ 豪州の「大規模な財政支援」の総額はGDP比で12%を超え、感染数や影響がより大きい日欧を大きく上回り、米国に並ぶ規模です。支援策の中核は、更なる債務の罍となるローンや債務保証ではなく、「ジョブキーパー」賃金支払い助成金制度などの直接的な財政支出です。現在610万人の豪労働者がこの制度によって隔週1,500豪ドル（約10万円）を受け取っています。これが政権へ信頼に繋がり、モリソン首相の支持率も高水準です。

■各国の感染状況（5月17日現在）

	感染者(人)	回復率(%)	死亡率(%)
オーストラリア	7,045	90.38	1.39
韓国	11,050	89.48	2.37
日本	17,049	70.78	4.51
中国	82,947	94.31	5.59
ドイツ	176,370	87.32	4.51
イタリア	225,435	55.53	14.15
米国	1,490,654	18.43	5.95

出所：リフィニティブ、オーストラリア統計局

豪州での経済再開への期待

- ✓ 足もと、豪州経済の悪化は失業率が2015年来の6%を超えるなど他国同様に深刻です。それでも豪州経済の悪化幅は相対的に小さく、回復ペースもより速いものとなると見られています。その理由の一つは「経済再開への期待」です。
- ✓ 豪州では早期封じ込めの実績と自信から経済再開の余地が生まれています。医療体制の充実も加わり、感染拡大の第2波が回避されるという信頼感も高まっています。政府は、5月初より段階的に規制緩和を開始し、ほぼ全ての事業が7月までに再開する見通しです。4月だけで59万人以上が失業しましたが、最終的に国内の全業界で合わせて85万人以上が仕事を再開できる見込みです。

中国の資源輸入拡大が追い風

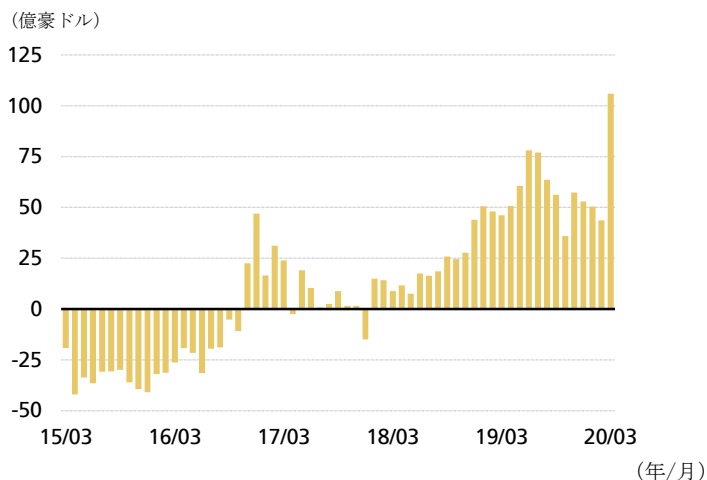
- ✓ もう一つは、「中国からの追い風」です。豪州にとって最大の輸出先は中国です。輸出全体の 1/3 を占めています。中国経済の回復は世界の 2-3 か月先を進んでおり、その中心はインフラ支出に置かれています。
- ✓ 4 月の豪州の LNG 輸出は、中国が最大の輸出国となり、出荷量は前月比で 38%、前年同月比で 11%増加しました。また、石炭輸出は 3 月に急上昇し、430 万トンと前年同月比 105%増となり、鉄鉱石輸出も同月に前月比 32%増となっています。これらを受けて、豪州の貿易収支は大きく好転しています。
- ✓ 中国では延期となっていた全人代が 5 月 22 日から開催されます。追加の景気刺激策として、インフラへの追加投資が見込まれています。足元では、中国の新型コロナウイルスの発生源の調査などを巡り、両国の関係悪化が貿易問題に進展するリスクはありますが、貿易規制は牛肉や大麦などの分野に限定されると見られています。

今後の豪ドルの見通しは？

- ✓ このような豪州の「優れた感染対応」と「大規模な財政政策」、そして「経済再開への期待」や「中国経済からの追い風」などを背景に、豪ドルは 3 月を底に反発が続いています。
- ✓ 5 月 18 日にはワクチン開発に関する朗報を受け、株式や原油、銅などリスク資産が大幅上昇したことに伴い、豪ドル円は新型コロナウイルス感染が拡大を始めた 2 月以来の高値である 70 円台を一時回復しました。
- ✓ 今後、世界経済の持ち直しが見え始め、景気との連動性が高い銅など資源価格の上昇が続けば、銅と相関が強まっている豪ドル円も続伸する可能性があります。

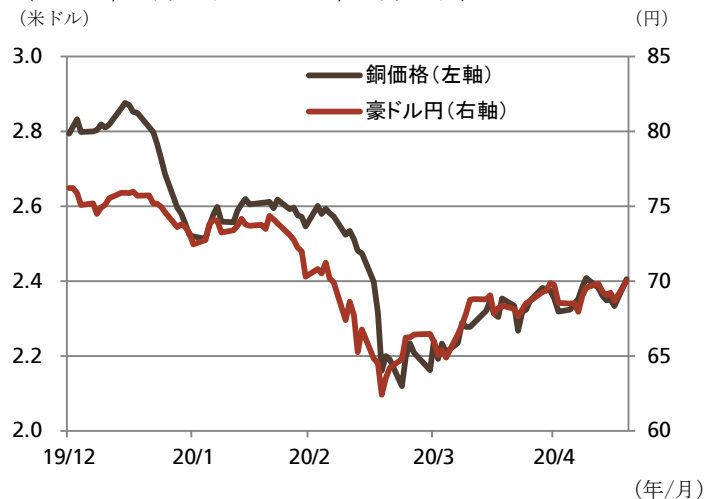
■豪州の貿易収支

(2015 年 3 月～2020 年 3 月)



■豪ドル円と銅先物の推移

(2019 年 1 月 1 日～2020 年 4 月 7 日)



出所：リフィニティブ

上記のデータは過去のものであり、将来の動向を示唆、保証するものではありません。

商号： UBS アセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 412 号

加入協会： 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

本資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、信頼できると考えられる情報をもとに UBS アセット・マネジメント株式会社によって作成されておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。本資料に記載されている内容・数値・図表・意見・予測等は、本資料作成時点のものであり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。

© UBS 2020. キーシボル及び UBS の各標章は、UBS の登録又は未登録商標です。UBS は全ての権利を留保します。